

日 付 : 令和8年5月20日(水)	記 録 者 : 北部地域障がい者相談支援センター
会 議 名 : 令和8年度北部地域自立支援協議会 第1回就労支援部会	
場 所 : 唐津市健康サポートセンターさんて 3階大会議室	
時 間 : 13:30 ~ 14:50	
参加関係機関:参加者名簿参照 就労支援部会会員44名・相談支援部会会員16名・関係者2名 合計60名	
<p>内容</p> <p>1. 開会・部会長挨拶 ○部会長挨拶(ユニバーサルカフェ ソラシド:稲本氏)</p> <p>2. 報告事項 ○今年度部会長:ユニバーサルカフェ ソラシド(稲本氏) 副部会長:サカセル唐津(毛利氏)、イエローキッチン(長崎氏) ・役員順については役員順番表参照 ※資料1 ○新規加入: ASHITABA LABO(あしたばラボ) ○年間スケジュールについて ※資料2 全体会 5月27日(水) 開催予定。 第2回 8月18日(火) 相談支援部会との合同部会を予定。 第3回 事業所見学(グリーンフューチャー様を予定) 他に見学受け入れ可能な事業所は連絡お願いします。 第4回(2月予定) 年間報告・まとめ。 ○は～とふるマルシェWG報告 座長・村井氏(からつ福祉作業所)、副座長・長崎氏(イエローキッチン)、山浦氏(大翔)、毛利氏(サカセル唐津)。 ○障害者スポーツ大会について 5月13日に実行委員会へ参加。当事者団体の参加減に伴い、就労支援部会から2事業所の役員派遣を依頼された。競技内容やマルシェ出店可否は6月の実行委員会で決定予定。 ○農福連携推進会議について(唐津市農政課・北島氏) 現状の課題: 唐津市農福連携推進協議会への役員(2名)の出席負担が大きい。 行政からの提案: 繋がりを断絶させないため、負担であれば「2席を1席に絞る」「席だけ置いて情報共有の窓口とする」などの柔軟な形を県と再検討したい。 ○水副連携について(玄海水産振興センター・東氏) ガハハハウスと漁業者が連携し、牡蛎の磨き作業等を行っている。 最初は手探りでのスタートでしたが、漁業者側の評判が良く、実際の作業量や能力に見合った対価をしっかりと払いたいと前向き。県のコーディネーターと連携しながら、漁業者と福祉施設のマッチング・拡大を進めていきたい。</p> <p>3. 就労選択支援の概要(唐津市障がい者支援課・新郷氏) 制度概要: 令和7年10月より開始された新サービス。 本人の強みや特性を「就労アセスメント」で整理し、より良い進路(一般就労、A型、B型等)を協働で選択する。唐津市内では現在2事業所が指定。 利用対象: 今後、B型(令和7年10月～原則化)やA型(令和9年4月～原則化)を新規利用する際は原則必須。 ※50歳以上、障害基礎年金1級受給者、就労経験があり年齢・体力的に一般就労が困難な人などは例外(免除)。 支給期間: 原則1ヶ月(自己理解や体力の見極めに時間が必要な場合は最長2ヶ月まで延長可) セルフプランでも制度上は利用可能だが、第三者の目を入れるため「計画相談利用」を推奨。 特別支援学校の生徒が放課後等デイサービスを利用している歳は同日利用も可能。 ○事例報告(つなぐ唐津・佐々木氏) 対象者: Aさん(20代女性、就労経験なし) 対人不安があるが、将来的に一般就労を目指すため、まずはB型から段階を踏みたいと希望し利用開始。 支援内容: タイピング、清掃、パソコン入力等の作業評価に加え、面談・振り返りを実施。「壁なしクラウド」を活用し記録・可視化。 本人の変化: 当初は緊張が強く指示待ち傾向だったが、徐々に自発的な確認や相談ができるようになり、「自分に自信がついた、色々な事業所を見てみたい」と前向きな発言が見られるまでに成長。 単に「働けるか(作業能力)」だけでなく、「安心して通所を継続できるか」を面談を通して一緒に整理していくことが、就労選択支援の本質である。</p>	